


S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道旭川北高等学校
実施日時	令和4年9月20日（火） 14:25～17:00
講師	<p>（所属）ACC（旭川クリエイターズクラブ） （職・氏名）会長 弦間 誠 （連絡先電話）0166-73-6027 （電子メール）cagicacco@me.com</p>
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>(1) 生徒が「デザイン」の手法を用いた思考方法を学ぶことで、「探究」への理解を深める。</p> <p>(2) 生徒が「デザイン」の手法を用いた演習において「探究の過程」を体験することで、自分でまとめた内容を他者に伝えるための表現方法について理解を深める。</p> <p>2 日程</p> <p>14:00～14:25 打合せ 14:25～16:15 講義 16:25～17:00 演習</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <p>(1) 講義について</p> <p>「手書きデザインの手法を用いた探究活動」をテーマとして、講師が依頼された仕事に対して、どのようなねらいで、どのように形にしていくのかを例示していただくとともに、探究活動に関わり次の内容を説明していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が仕事において心がけていることは、「デザイン」の手法を活用し、伝える相手に対して、分かりやすい資料を作成することである。このことは探究活動においても大切なことである。 ・講師のこれまでの経験から、資料を作成する際に必要なことは、多様な視点から様々な情報を収集・分析すること、収集・分析した情報を、相手意識に立って、分かりやすく工夫しながら表現することである。  <p style="text-align: center;">【講義の様子】</p>

(2) 演習について

生徒がグループに分かれて取り組んでいる「旭川冬まつり」のPR方法を考える探究活動において、各グループで考えているPR方法について、講師から具体的な助言をいただき、探究活動発表会に向けて問題点や改善点を整理した。



【各グループへの助言の様子】

4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）

生徒アンケートの結果から、生徒は探究活動における表現方法について理解を深めるとともに、グループの探究活動の問題点や改善点を整理することで、探究活動発表会に向けて意欲を高めることができた。

○ 生徒のアンケートから（一部抜粋）

- ・企画を考えるときは、最終目的は何かを考えてみるのが大切なことだと知ることができました。
- ・観察をしたり、視点を変えたりすることによって、新たな発想が生まれることが分かりました。
- ・何かを考えるときは、1つの視点に捉われず、色々な視点から見るのが大事だと学びました。
- ・探究活動では、人の意見を聞いたり、人と協力したりすることの大切さを知ることができたのが良かった。
- ・探究活動発表会に向けて、発表は誰に伝えたいのか、何がねらいなのか、細かく考えて、より良くしていこうと思いました。
- ・観察と発見の大切さを知ることができ、グループの活動に生かすことができて良かった。